

令和 7年度予算見積調書

課室名：エネルギー環境課
 担当名：住宅等省エネルギー推進担当
 内線：3068 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P11	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	地球温暖化対策推進費		
事業期間	令和 7年度～令和 9年度	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、さいたま環境創造基金条例			針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1006 地球環境に優しい社会づくり	SDGsゴール SDGsターゲット	11, 13 11-b, 13-3	
1 事業概要 埼玉県内の発信力、訴求力のあるプロ・トップスポーツチームに協力要請し、県民の行動変容を促進、行動変容を見える化するための取組を行い、2030年度の温室効果ガス排出量2013年度比46%削減を目指す。 スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業 6, 150千円				5 事業説明 (1) 事業内容 - チーム・スタッフが自らの行動を考える機会の提供 選手・スタッフを対象としたカーボン・ニュートラル講座を実施する。 〈チームの取組例〉 選手・スタッフによるワークショップを実施し、選手個人やチームの具体的な取組を企画する。 - チーム等が自ら行動して県民の行動を変容 動画の制作による映像ツールの提供、ロゴマーク等による啓発、チームとの取組を軸にした他チーム・市町村・企業との連携により効果的な普及を促進する。 〈チームの取組例〉 ア 発信力、訴求力のある選手やチームからSNSにより発信する。 イ 主催試合のカーボンオフセットの実施や植樹活動への県民の参加を促進する。 ウ ファンの行動変容を特別席への招待や写真撮影などのファンサービスと絡めて促進する。 - 県民の行動変容の把握・成果の発信 県民の行動変容を促進し、CO2削減量を具体的に把握できるツールを普及し、成果をPRする。 (2) 事業計画 令和7年度 各チームの主催する1試合以上で発信することで、6万人の行動変容 令和8年度 各チームの主催する5試合程度で発信することで、30万人の行動変容 令和9年度 各チームの主催する全試合で発信することで、250万人の行動変容 (3) 事業効果 県と連携するプロ・トップスポーツチームが主催する1試合以上で県民の行動変容を促進する取組を実施し、家庭に由来するCO2排出量の削減を推進する。 【活動指標（アウトプット）】 選手・スタッフを対象とした講座の実施15回、チームの行動による県民への発信15チーム、CO2削減量を把握できるツールの普及 【成果指標（アウトカム）】 観客6万人の行動変容を促進						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9, 500千円×4. 0人＝38, 000千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金	寄 附 金	繰 入 金						
決定額	6, 150	1, 534	3, 066	1, 550				0	6, 150	
前年額	0							0		

事業内訳書

事業名	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業		
単位事業名	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業	予算額	6,150千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	1,534	1,534	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 補助率 1/3
寄附金・ 環境費寄附金	3,066	3,066	地方創生応援税制寄附金
繰入金・ さいたま環境創造基金繰入金	1,550	1,550	さいたま環境創造基金
合計	6,150	6,150	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	300	300	講師謝金
需用費	1,100	1,100	啓発品制作費
委託料	4,600	4,600	1動画制作・放映費 1,850千円 2共通ロゴマーク制作費 750千円 3脱炭素アプリの普及 2,000千円

単位事業名	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業	予算額	6,150千円
-------	--------------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	150	150	会議室使用料
合計	6,150	6,150	